

2019年 3月21日

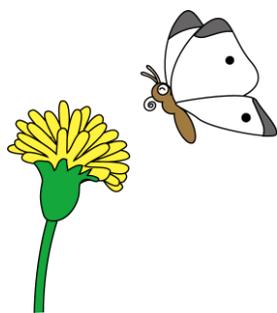
未来への扉

高等特別支援学校 支援部 第118号



平成30年度を振り返って

1学期は“学習目標の変更”をテーマにお話させていただきました。小中学校より基礎学力を積み上げての現在があると思います。保護者の方やその時の学校の先生方のお陰で、本校生徒は社会で働いていくための基礎学力の土台はしっかりできあがっています。“学校＝お勉強”と考え



がちですが、この3年間はソーシャルスキルやライフスキルを中心にした、社会の中で生きていく実践的な力を基礎学力の土台の上で作っていきましょう。

2、3学期は“生徒の発達(成長)と支援の変更”についてお話しさせていただきました。本校の生徒は個人内で発達に凸凹があり、苦手なこともあります。得意な面で苦手さをカバーしていきます。体育大会のピストルの音に適應できた生徒や、きいちゃんの肉じゃがの話をお出ししてください。苦手の本質に対する支援はもちろん必要です。ピストルの音がいつ鳴っても我慢する力をつけなさいとか、みんなと同じようにごちゃまぜの肉じゃがを食べなさいというのは虐待に近いものがあります。生徒の発達(成長)のなかで、苦手の本質を探り、それを軽減する自己支援に置き換えることを応援していきましょう。

発達段階によって、われわれ大人側も関わりが変化していきます。例えば、「成功体験を積ませる」ことが大切な期間を経て、思春期以降は「失敗体験を避けず、失敗は悪ではなく、どう対応したらよいかを知らせる」ことが大切な期間に変わってきています。このように支援の仕方を変えていくことが大切です。

今年度の“未来への扉”の感想や、来年度の「未来への扉」にリクエストがございましたら支援部までお知らせ下さい。一年間ありがとうございました。

I. Y

あと少しで今年度も終わろうとしています。25期生の担任をさせてもらうことになったこの1年を振り返ると、学校生活に慣れるまでのこと、初めての実習、体育大会に文化祭・・・。ともにすごした1日1日がつい昨日のことのようです。それぞれが地元の学校を卒業し、入学した皆さんでしたが、この1年で少しずつ高特生らしくなってきましたね。春休みにはこれからの予定を確認しつつ、自分にピッタリくるような素敵な目標を立ててみる、なんてどうでしょうか。わたしは何にしようかな・・・。1年間ありがとうございました。

1学年支援部 F. Y

気がつくともう2年生が終わり、4月からは最高学年になるという現実、ただただ驚いています。一昨年の春、入学したての24期生と過ごし、「この子たちは3年生になったとき、どんな最上級生になるのだろう・・・」と考えたことがありました。あの時には全く想像できませんでしたが、2年間の高特での積み重ねで、少しずつ成長してこられたように思います。3月、この2年を振り返り、しっかりと自分の目標を定めて歩めるように、春休みを有意義に過ごしてほしいと思います。

2学年支援部 S. A

今年も1年が終わってしまいました。この時期になると、「この1年で自分は何ができたのか」と自分自身を振り返ります。何ができて、何ができなかったかを思い出し、新たな目標を立てて1年間頑張ります。卒業式が終わって、2週間が経ちました。もうすでに働き始めた人もいます。これから始まる長い社会人生活でも、目標を立てて働き続けてほしいと思います。1、2生も次の1年後にはどんな自分になっていたいか、わくわくするような目標を考える時期にしてほしいと思います。1年間ありがとうございました。

3学年支援部 N. D

今年度も『うちの先生♪』を担当しました。“うちの先生”の知らなかった一面を紹介出来たら嬉しいと思っていますがどうでしたか？人と人をつなぐこと、これは私がお手伝いできる支援のひとつだと思っています。私自身も取材の時間は“うちの先生”とお近づきになれる貴重で刺激的なつながりの時間です。このつながりを広めて行けたら幸いです。さてまた4月には新しい出会いが待っています。生徒の皆さんは1つずつ先輩になりますね。自分なりのペースでまた1歩ずつ進んでいきましょう。『うちの先生♪』のレポーター YことY. N

3年生が卒業し、少し寂しい3月です。先日1・2年生だけのマラソン大会が行われました。前回の自分の記録(試走や昨年の分)に比べ、今回は記録が短縮していた人がほとんどでした。一度経験することは大切ですね。追い込まれて限界突破した人もいれば、あいつには負けられないと力を振り絞った人、友達がいるから苦しいのは自分だけではないと頑張った人、まだまだ余裕を残してゴールした人、それぞれの頑張りのスタイルが見えた一日でした。4月からの学校生活、応援しています。

支援部 K. A